

磐田市文化会館建設検討委員会（第11回）会議記録

【日時・場所】

平成28年11月16日（水）19:00～21:15

磐田市役所4階 大会議室

【出席者】

建設検討委員会委員：青島美子、浅羽 浩、小野泰弘、佐藤典子、鈴木正善、鈴木洋子、
鳥居 勤、永井聡子、袴田茂人、平野邦孝、村上勇夫

磐田市：酒井企画部長、清水市民部長

秘書政策課：袴田課長、鈴木雅

文化振興課：大庭課長、小澤、丸尾、新貝

建築住宅課：渥美、高林

環境デザイン研究所：斎藤、小高

1. 開会

議事（仮称）磐田市文化会館最終答申内容の確認・・・事務局説明

（会長）

規模・機能の検討ということで、ホール、創造系施設、交流系施設の確認をしていきます。最初にホールの客席について意見はありますか。

（委員）

客席で転倒した時に床でケガをすることが無いように、安全性についての議論は行わなくてもよいですか。素材の問題になります。

（会長）

建築の細部に関わることは、事務局で設計時に留意いただければよいと思います。

（委員）

座席のサイズだけではなく、足元にもゆとりがあるという表現を加えていただけるとありがたいです。

（会長）

ホール機能には4点あります。客席数は1500席程度で、現在の文化会館と同規模ということです。2つ目に客席構造は2層式であるということ。3つ目に子育て世帯が子どもと一緒に公演を鑑賞することができる配慮が必要ということ。最後は椅子の快適さです。

1500席の規模が必要なことは、委員一致の意見ですが、必要な主な理由として人口17万人の中東遠地区における中核的な都市のホールということと市民の文化活動の活性化のために必要

ということです。他に意見はありますか。

（委員）

今までの実績数字を掲載したらいいと思います。1500席のホールが大きすぎるという方もいるかもしれませんが、客席数が少なくなると困る方もいると思います。

（会長）

小学生の音楽発表会は保護者も鑑賞されると満席になり必要という話もありました。

（委員）

17万都市の磐田として全国規模の催事を行うことも視野に入れてみたらどうかと思います。その時には1500席の規模は絶対必要になります。

（委員）

舞台芸術の振興で、良いものを見せる一方で、市民活動も日常的に行うことになる。市民が日常的に多く出入りできる使い方の検討が必要になると思います。1500席をどのくらいの頻度で使用するのか。にぎわい創出は大切なことだと思います。ある程度使い勝手がいいということを実可能にするにはどうしたらいいかということはこの段階でどう考えたらよいですか。

（委員）

磐田市の規模で、毎回1500席を満席にする催事はできないと思います。ホールの構造を2層にして中ホールとして使う方が多いと思います。満席にすることが成功なのか、中味が勝負なのか難しいところです。数字的に満席になっている催事が多いことと、内容的に良いものを行っているのに半分しか入らず評価が出てこないところは考え方の問題かと思います。

中ホールとして使う内容と大ホールとして使う内容は異なります。満席だから良いのではなく8割しか入館しなくても、どうしても必要なため、行わなければならない物もあり、そういうことも公立施設では大切だと思います。

（会長）

皆さんから、現在の規模と同程度の1500席のホールが欲しいという意見が出ています。根拠には、実績という話がありました。毎回満席になる訳ではありませんが、満席で使うことも決して少なくはない事実と、優れた芸術作品を適正な価格で、より多くの市民に鑑賞していただくためには、現在の市民文化会館と同等の座席数を確保することが必要という2つかと思います。

（委員）

市主催の行事で成人式等は文化会館が豊田地区に移転することで、今までは、旧の磐田市の方だけでしたが、豊田も一緒に行うことになり座席数はある程度確保しないとできません。

(委員)

成人式、消防団の集まりなど市が式典を催した時に 1500 人が集まれる会場を自前で持っていることが 17 万都市の格でもあると思います。舞台芸術、文化活動とは別として人が集まる場所です。市の公式行事に対応するためにも必要性は感じます。

(委員)

1500 客席が必要な理由として、中東遠地区における中核的な都市として優れた全国レベルのものを呼べるということを記載した方がいいと思います。磐田市は、それくらいの意気込みがある、という意味を込めて 1500 席は必要です。座席のサイズについては、座りやすいだけでなく舞台全体を見れる座席のレイアウトという表記も必要かと思います。

(会長)

鑑賞しやすい客席の配置と、1500 席の施設が望ましい理由は皆さんの意見を入たいと思います。親子室と客席の 2 層式構造はよろしいですか。次の舞台についてはいかがでしょうか。

(委員)

舞台に関して、洋楽系のことばかりで、歌舞伎や日本舞踊に必要な花道といった舞台に関する記載はありません。舞台設計の段階で考えることとなりますか。

(委員)

実際に 1000 席程度のホールでも脇花道、オーケストラピットがある施設もあり、オーケストラピットを使いグランドバレエを 800 席で行ったり、所作台を使って日本舞踊等も行うホールもあります。書き方は、ある程度の奥行きも確保するでいいかと思います。

どちらかといえはオペラやダンス公演、現代的演劇を行う施設より日本の伝統芸能、伝統舞踊公演が可能な多目的集会施設に花道を備えた会館が多いと思います。最近では、海外のオペラ劇場に学んだ奥行きがあり、花道も取れて、オーケストラピットあるという劇場が多くなってきました。それを経て、磐田市は何を選択するかということになります。

(会長)

答申には専用舞台でなく多目的な舞台であるということ、間口とともに奥行きも欲しい、その 2 つを 1 つの文にしています。多目的の中には西洋舞踊だけではなく日本の古典芸能を演じることが可能にするということで、多様な演出の中に両方を兼ねそろえるという考え方をしてはどうですか。

(委員)

皆さんが求めるところは、演劇も音楽もできるホールと思うので、多機能といった書き方がいいのかなと思います。

演出によっては、奥行きがない方がいい場合もあります。また、奥行きがあった方が照明の劇的效果も得られる場合もあります。多様な演出に結びついているのが間口と奥行きの状態です。

一番困るのは、奥行きがないことの方が多様に使いたい人にとっては問題です。

(会長)

音楽、演劇等、何を例にするかは別にして、様々な演目の上演が可能な多目的な舞台とし、多様な演出が可能となるよう、間口だけでなく奥行きも必要であると思いたいと思います。

(委員)

音響について、音楽専用ホールと同程度の効果が得られる、としていますが、この表現では、多目的ホールだから、この程度でいいというように感じられます。多目的ホールだけど、音楽専用ホールに勝るとも劣らない、といった表現がいいと思います。

(委員)

音響について、音楽専用としていますが音楽専用ホールの必要残響は演劇とは違います。音楽に特化しているということによろしいですか。

(コンサル)

残響の長短については調整する装置をつけて多目的な需要に供する設定も行われていきます。それぞれの演目に高い水準の性能が実現するとしてはどうでしょうか。

(会長)

そのような主旨の表現を入れます。舞台、楽屋についてはよろしいでしょうか。

(委員)

楽屋を議論した際に数だけではなく、もう少し何か考えた方がいいのではないですか。

(委員)

洗濯、アイロン部屋、シャワー室など、そういう細かな配慮がされているとありがたいです。

(会長)

シャワー室、洗濯室などを設備という言葉で表現していきます。

(委員)

会館全体のことで、トイレは客席も含めて少ないと非常に不便です。楽屋にしても、客席にしても大切なことです。配慮いただいた方がいいと思います。

(会長)

客席規模等により必要なトイレの数は算出されると思われます。意見があったことは事務局で記録いただければと思います。会議室の必要な部屋数はどうですか。

楽屋については、必要な部屋数と設備を確保するという。また、併せてアミューズ豊田の

諸室の利用も検討する、という意見です。アミューズには現在の市民文化会館の隣にある文化振興センターのような建物はなく、アミューズ豊田の諸室をどの程度、代替として使用できるかは重要な要素になると思います。必要な部屋数は確保していただきたいと思います。

（委員）

文化会館が多目的な活用が可能となるように会議室等、必要な部屋数を確保することを入れていただきたいと思います。会議室は講演会以外にも、展示も行うことができ、会館利用の事前打合せや、楽屋代わりに利用可能な会議室を備えていただければと思います。

（会長）

アミューズ豊田、豊田図書館などの施設の中で必要な会議室が確保でき、新しい文化会館と、うまくつながり機能的に活用できるのであれば、文化会館内での整備の必要性は考えなければならぬと思います。出演者数が非常に多い公演の時には実際にどの程度、既存の市民文化会館の楽屋以外に文化振興センターの会議室を使うこととなりますか。

（委員）

公演形式で異なりますが、人数が多い場合はセンター全館を借りることになります。アミューズ豊田を借りる場合には、どう使えるかが心配です。

（事務局）

ダンスエボリューション出演者はワークショップと一般参加者で構成されています。現状は、文化振興センターを全て控室として使っています。発表は短時間に行うために、一度に人を集めていますので、そういった形式にはなりますが時間をずらすという工夫も、やり方によっては考えられると思います。

（委員）

研修室のような部屋がどこかにあり時間差でうまく誘導することができれば普通の楽屋の数でいいと思います。それがないと大混乱起こすと思います。

（会長）

アミューズ豊田の諸室がどこまで利用できるか見極めが困難です。会議室の必要性が難しいところです。

（委員）

様々に使える会議室は欲しいと思います。アミューズ豊田等の状況と動線等をしっかり把握し、実際の設計への反映をお願いしたいと思います。

（会長）

会議室の必要性は、現在は文化振興センターが隣接しているが、将来は無くなるということが

背景にあるかと思えます。創造系施設はリハーサル室と併せて練習室の必要性について意見がありました。リハーサル室は鏡張りでバレエバーが設けられ身体的練習の場であるのに対して、練習室は少人数の音楽系を中心とする部屋といった性格かと思えます。現在の文化会館に練習室はなくリハーサル室を充実するという観点です。

(委員)

多目的な利用のイメージは会議室や待合室に使えることかと思えますが、多目的な利用が可能となる、というのはどのようなイメージですか。

(会長)

荷物置き場、昼食の場、小さな作品の発表会や会議などもできる多目的に利用できるものです。

(委員)

音響や照明など整備することが望ましいとしていますが、リハーサル室は小ホールの扱えると捉えてよろしいですか。

(委員)

簡単な照明、バトンを整備し袖幕が吊れるようになっていれば小ホールの利用もできると理解しています。

(委員)

リハーサル室は、基本は小ホールで会議室ではないけれども大勢の人が来たときには椅子と机があれば、そういう使い方もできるということで、目標は多目的な小ホールで山台を設置すれば簡単な舞台が出来、100席くらいの観客席のホールになるイメージですか。

(委員)

そういうことで十分使えると思います。また、リノリウムマットが敷いた状態のリハーサル室もあります。含めて検討していただければと思います。

(委員)

練習室は答申には入れていただきたいと思えます。リハーサル室は、舞台前の練習室という意味で創造系施設と言えます。バンドが録音できる設備を入れていただきたいと思えます。

(会長)

軽音楽のバンド演奏愛好の方は楽器店等で練習を行っているのですか。

(委員)

音を出せる交流センター等を使っていると思えます。楽器店もあると思えますが、学生は予算がないので公共施設でバックアップも必要だと思えます。

(委員)

レコーディング部屋は少し小さく、リハーサル室は大きくなり、複数の施設が必要になります。

(会長)

リハーサル室で概ね目的が達成できるのであれば余分に設けることもないと思います。創造系として、どういう環境が磐田市民にとって必要かを考えるかに尽きると思います。充実したりリハーサル室を作ることを大事にして練習室は、あった方がいいという意見がありますがニーズはかなり見込めそうでしょうか。

(委員)

あると思います。浜松市内の公共施設の練習室はいつも予約で満員です。1時間単位で貸出しを行っており、平日の夜間でもバンドやバイオリン、チェロの練習で利用されています。リハーサル室と練習室をはっきり分けた方がいいと思います。

(委員)

会議が進むにつれ設備が多くなり、これだけの設備を持つホールを本当に市で100%フル活用、利用できる体制が整うかどうか心配になります。文化振興会では年間20本くらい催事を行い、それも少しずつ進歩していますが、これだけの舞台を設置して本当に大丈夫かと思えます。

(委員)

工夫して興味を持っていただける舞台をつくるのが、お客さんに来ていただくことにつながります。生活文化から発生して舞台で演じるものと、芸術文化を志すものは異なります。同じく満席になっても数字だけで評価をしないで見る方がそれを評価する。満席にならなくても市民のために行わなければいけないものもあると思います。

文化会館は途中で建て直す訳にはいきません。この先20年30年後は、今と時間の流れるスピードは異なり演じるものも様変わりし、練習室も必要になると思います。新しい文化会館は磐田市民だけでなく周辺からも利用の申込みがあると思います。その時に、対応できる施設内容であることは絶対に必要だと思います。費用が膨らめば縮小されると思いますが、必要なものは答申すべきかと思えます。

(会長)

新しい文化会館の検討にあたり、座席数、楽屋等の数にしても必要なものをということで、過大なものは抑制しながら検討しています。現時点で20年30年後を見通しながら備えたいものを選ぶのが委員会の役割です。しかし、実際にどう実現するかは予算のこともありますので、そこは押さえないといけないかと思えます。

(委員)

本当に必要だと思うのは創造系施設のリハーサル室であり、にぎわい創出のためには、なくてはならないと思います。実際に大ホールの1500席は多いかと思えますが、皆さんの要望である

ならば必要になると思いました。

経費の面から縮小せざるを得ないこともあります。できるだけのことを望む方がいいのかと思います。現実的に、新しい文化会館の使い勝手が良く、小さな劇団や楽器のソロコンサート等が利用できれば、もっとにぎわいが出ると思います。大ホール他、全部を使いこなすためにはスーパープロデューサーが必要だと思えます。にぎわい創出のため、交流施設や市民が集う場所を外してはけないと思えます。

(会長)

続きまして、建物の配置への配慮、人と大道具等の搬出入の動線を考慮すること。既存施設との連携の必要性です。現実的な検討が必要かと思えます。既存施設の状況や部屋の構成など踏まえて、新しい施設とどの様に連携できるか具体案はありますか。

(コンサル)

アミューズ豊田を一体で行う行事の有無は不明ですが、色々な可能性はあると思えます。連携には動線上の問題はありますが、配置によっては解決できると思えます。

駐車場は使いまわしができるはずですので部分別けしないで効率よく駐車場が使えると便利かと思えます。

客の動線と、搬入の動線を分けるということありましたが、市民利用の中でも駐車場周りの動線の安全性は大切なことです。一方、アミューズの広い環境が得られれば共用の憩いの場や子どもも安心して遊べる場なども含め建物の中だけでない外部空間の連携利用も計画されると良いと思えます。

(会長)

動線の配慮、建物配置の留意は当然必要なことかと思えます。連携については、具体的に検討しないと、なかなか見えてこない部分かと思えます。今後十分検討し市民文化会館と相互にそれぞれ円滑な運営を行っていくことが大事といったことを盛り込めればと思えます。

(委員)

品格のある建物とし、機能を重視しメンテナンスも容易な施設整備が必要である、ことを記載いただければ十分ではないかと思えます。デザインに費用かけるよりは、シンプルに建てることのできればと思えます。予算もあり、過大な施設にならないような必要性もあると思えますので、細かくしない方がいいのではないのでしょうか。

(委員)

市民として、新しいホールは、近づき難くなってしまいう施設ではなく費用はかけなくても、機能は自慢できるようなホールであり、育児中の方が子ども連れでも楽しめ、公演や行事がなくても誰でも行ってみようと気軽に言える身近なホールになると良いと思えます。

(委員)

あり方検討委員会では、建てるか否かの議論から始まり、今は建てること前提に議論しています。どのような施設を建て、どう整備するかという議論は当然です。今回の答申に色々と盛り込むこともいいかと思いました。建物の配置で配慮することに、財政負担をかけないことも含めて、市で総合的に判断するとしています。使う側の立場として、必要なものについての議論があってもいいと感じます。コストの問題を抜きに考えられないので発言しました。

(委員)

こういうものができ、こうあるべき、ということをお願いするのが委員会の立場と思います。限られた財源の範囲の中で決定されてくるとは思いますが、必要な機能や規模を選択する材料を委員会で話し合っていると思っています。

(会長)

今日の意見を事務局で整理していただき、次回最終確認をしたいと思います。それでは事務局の方にお返しを致します。

次回の日程を確認して会議終了